

笑顔で会える学校

豊能町立吉川中学校 学校だより



令和7年2月14日

2月2日に第6回（今年度2回目） スマホ教室を開催しました！

去る2月2日（日）に西公民館で、第6回目となる「スマホ教室」を開催しました。今回は生徒会役員の呼びかけで、役員を含め14名の生徒が講師役として参加してくれました。

今回の開催に向けては、1月末にデイリーカーナート付近でビラ配りをしたり、また地域の掲示板にポスターを張ったりと宣伝活動も頑張ったのですが、やや宣伝不足の感も否めず、朝9時半の開始段階では、以前のように列ができるというほどではありませんでした。そこで、スタートと同時にオアシス付近でのビラ配りも行いました。当日にビラ配りをする試みは初めてでしたが、これが功を奏したのか、10時ぐらいから来られる方々が増え始め、12時まで教室は行ったのですが、来場者が途切れることなく、最終的には33組もの方々が教室にお越しくださいました。今回も来られた方は大半がご高齢の方々でした。



「今度はいつあるの？」などの声が…

今回、講師役を務めるのが初めてという生徒も半数近くいたのですが、最初は緊張していたものの、始まってしまえば高齢の方の悩みを丁寧に聞き、そして丁寧にお答えしていました。各テーブルには説明用のメモ用紙と鉛筆を用意していたのですが、どのテーブルでもメモ用紙にスマホ操作の段取りを丁寧に書き、それを使いながら納得されるまで丁寧に説明し、最後はその用紙を持って帰っていただくという流れができていました。

今回も部屋を去られる際に来場者の方に感想を聞くと、「よくわかってスッキリしました」、「すぐ忘れてしまうから、近いうちにまたやってね」、「今度はいつあるの?」、「孫と話をしているみたいで楽しかったです」など、うれしい声をたくさん聞かせていただきました。そして「もう少し早めから宣伝してほしい」とか、「ビラができれば地域で配りますよ」など、ご要望や、「協力しますよ」という声もいただきました。「こんな素晴らしい取り組み、もっと多くの人に知ってもらって利用してもらいたい」という声もいただきました。これらの声を生かし、今後、この「スマホ教室」の継続はもちろん、地域に貢献できるようにさらに発展させた取り組み



へと、生徒たちとともに考えていきたいと思えます。

参加した生徒たちも地域の方々に喜んでもらったことで、地域貢献ができた喜びと、頑張れた自分に自信が持てて、どの生徒もとっても素敵な笑顔を見せてくれました。今回も生徒たちの自己有用感も高まった、たいへん有意義な一日となりました。



吉中感謝祭第2弾 「食缶空っぽキャンペーン」が終わりました！

前号のこの通信でも紹介したように、1月の最終週に、生徒会の吉中感謝祭第2弾として、「食缶空っぽキャンペーン」を実施しました。今回も1学期に引き続き、ほとんどのクラスの食缶が空っぽになったようです。忘れ物もずいぶん減って、みんながランチョンマットを敷いた机で、気持ちよく給食を食べることができたようです。食缶も空っぽになり、きっと調理員のみなさんも喜んでおられると思います。



昨日、このキャンペーンの表彰が行われました。結果は下のとおりです。

第1位	2年1組	225点満点
第2位	2年2組	210点
第3位	2年3組	170点

2年生が1位から3位までを独占した結果になりました。でも、表彰されなかったクラスも、よく頑張っていたと聞いています。これからも、キャンペーンが毎日実施されているつもりで、忘れ物をなくし、みんな気持ちよく給食の時間を過ごし、そしておいしい給食を残さずしっかり食べましょう！



給食に関するうれしいお知らせ

2学期後半に保護者のみなさまと生徒たちを対象に行った、「学校教育自己診断アンケート」の集計並びに結果分析を現在行っております。結果は来月初旬にみなさんにお示しする予定ですが、給食に関する項目の肯定的評価がものすごく上がりました。保護者の方で95.3%、生徒では98.0%にもなりました。予想以上の好結果に感激しています。早速調理員のみなさんや栄養教諭の先生に伝えたいと思います。ありがとうございました。



「校長室から出題です」

〔スタンプ10個達成者〕 3年2組



さん